

計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準について

退職給与引当金・・・定年退職および自己都合退職金の支給に必要な額とします。

(2) 資金の範囲

資金の範囲には現金、普通預金、前受金を含めることとしています。

なお、前期末残高および当期末残高については2. の記載のとおりです。

2. 次期繰越収支差額の内訳は次のとおりです。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
現 金	0	0	0	0
普 通 預 金	19,006,634	10,307,215	0	29,313,849
合 計	19,006,634	10,307,215	0	29,313,849

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
前 受 金	0	138,937	0	138,937
次 期 繰 越 収 支 差 額	18,486,361	9,916,603	0	28,402,964